

# 木更津高専公開講座

## 【内容・狙い】

小中学生向けのSTEAM教育、理工系人材の育成の一環として、理科に関する工作や実験をメインに約40年の長期にわたり実施しており、より多くより効果的なSTEAM教育の機会創出を目指している。長期にわたり実施している講座もありながら、新しい講座開発も行っており、様々な体験機会を提供することにより、理工系人材の早期発見へも貢献している。

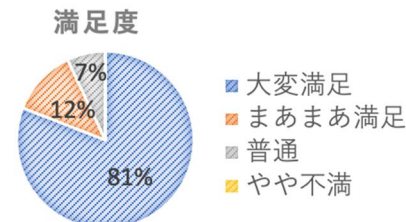
## 【コンテンツの内容】

R7年度コンテンツ一覧を示す。コンテンツ総数は16(2部構成の講座は各回で1講座としてカウント)で、定員総数は165名である。

- ・ 英語で数学を学ぼう (オイラーの多面体定理)
- ・ DNAを採取して、見てみよう (AM・PM 開催)
- ・ 夏休み子ども工作教室 動くおもちゃ、簡単な電子工作など4コンテンツ
- ・ LEDランタンを作ろう (AM・PM 開催)
- ・ 地球環境の変化を衛星画像で解析しよう！
- ・ サイバーセキュリティ入門 ~サイバー攻撃を知り守る力を獲得しよう~
- ・ 光の残像でメッセージを伝えよう
- ・ スポーツ×プログラミング『ミッションラン』
- ・ 親子でプログラミング体験 ~Arduinoでメロディーと3分タイマーを作ろう~
- ・ 電子オルガンをつくろう！
- ・ 英語で数学を学ぼう (折り紙一刀切り定理)
- ・ 風に向かって進む不思議なウィンドカーを作ろう！
- ・ マインドストームを使ったプログラミング講座
- ・ レゴロボットを作ろう！

## 【参加者の声】

アンケートでは、“分かりやすい説明で原理が良く分かった”、“さらに理解を深めたい”、“とても楽しかった”など、どの講座も極めて高評価である。右にR5年度～現在までに実施した講座の満足度を示す。



## 【成果と課題】

過去約40年間の参加者数は約6770名におよび、主に小中学生のSTEAM教育、未来の理工系人材の育成への寄与が期待される。人気の講座は抽選倍率が高く、過去には定員10名に対し56名の申し込みがあり、当選倍率が5.6倍になった講座もあり、人気の講座は受講が難しいといった嬉しい課題がある。現状では、各種イベントにおいて体験の機会を設けるなどの工夫をしているが、今後は参加者数を増やすなどの根本的な対策を行いたい。

